

## 第 43 回中国ミニバスケットボール大会出場報告書

ミニバス岩国  
ヘッドコーチ 川部和江

この度ミニバス岩国は、第 43 回中国ミニバスケットボール大会に山口県代表として出場させていただきました。岡山県総合グランド体育館 ジップアリーナ岡山 というとても大きな体育館で開催されました。

新チームでスタートするとき、子ども達と毎年『今年目標、決勝大会が終わったときになっている自分、チーム』というテーマで話し合いをします。今年度は全員が【山口県でっぺんをとって全国大会に出場する】と口にししました。それからはみんなでその目標に向かって練習に励みました。私自身の問題ですが、平日の練習を見ることができずその中でアシスタントコーチとともに日々練習を頑張って取り組みました。山口県決勝大会では、決勝で思うようなプレーができず敗退となりました。その結果中国大会への切符となりましたが、次への目標『中国大会で優勝したい』という気持ちに切り替え 3 月 9・10 日中国大会を迎えました。

待ちに待った中国大会。

初戦 岡山代表 ワラビーズ

緊張と初戦に弱い我がチーム。ディフェンスの足も思うように動かず、シュートは指先のコントロールが少しずつずれてノーマークシュートを外し得点に繋がりませんでした。岩国らしいプレーが出ないまま時間は経過して試合は終わってしまいました。ここでワラビーズは 2 勝が決まってしまいましたので、1 位トーナメントへの出場は叶わないこととなりました。

ワラビーズ 48 - 36 ミニバス岩国

2 試合目 鳥取県代表 余子

開会式で 6 位まで表彰があると聞いていたので、なんとか表彰式にはチームとして出たいという子ども達の思いで試合に臨みました。1Q からみんながとても集中して岩国らしい展開となりました。中国大会ではベンチメンバー全員がコートに立ってプレーすることが必須でした。とにかく 3Q までに得点をとってみんなが出場できるようにしたい。という 6 年生の強い思いで 4Q 全員が出場することができました。しかもプレータイムが 3 分弱もあり全員がとてもいい経験ができました。

余子 54 - 57 ミニバス岩国

## 2 日目

島根県代表 古志島との対戦。

この試合に勝って表彰式に出たい。という子ども達の思いがよく伝わってくるような試合でした。よく走りルーズボールもしっかり追って岩国らしい試合展開で 2 位トーナメント決勝へ出場権を獲得することができました。

古志島 38 - 50 ミニバス岩国

2 位トーナメント決勝 岡山県代表 邑久

6 年生にとってとてもいい経験となった試合でした。4 番の子は中学進学が京都精華へ決まっております、とてもキレのあるそして技のあるプレイヤーでした。子ども達には「なかなか対戦できる相手ではないよ。中学では関西に行ってしまうのであればここで体感していいプレーをしっかりとらっておいで」と話をしました。緩急のつけ方、ドリブルチェンジ、フィジカルの強さどれをとっても岩国の子の上を行く選手。子ども達にとってはいい刺激になったようです。試合は敗退しましたが、次へのステージへの課題をもらうことができた試合となりました。

邑久 49 - 39 ミニバス岩国

優勝を目指して出場した第 43 回中国ミニバスケットボール大会でしたが、結果は 6 位でした。選手達は思い描いていた結果にはならなかったと思いますが、スラムダンクの山王工業の監督の名言【負けたということが 何か大きな財産になる】の通り、この子たちにはまだまだ次のカテゴリーがあります。私はそこへの架け橋になるようにこれまで指導をしてきました。時に厳しく指導しました。時にみんなで楽しく笑ってレクリエーションもしました。この子たちの未来は可能性しかありません。中国大会という大きな舞台と一緒に立てたことをとてもうれしく感じています。

岡山県バスケットボール協会の関係者の皆様には細部にわたりとても気持ちよく大会に参加させていただくことができました。大会に携わっていただいた皆様に感謝の思いでいっぱいです。

そして、山口県ミニバスケットボール連盟の皆様も大会に多数お手伝いに来ていただき、理事長をはじめ審判・MC の皆様にも感謝いたします。

最後に一緒に頑張ってくれた子ども達・コーチ陣そして、無理難題をいつも快く引き受けてくれた保護者の皆様に感謝いたしまして、出場報告書とさせていただきます。